

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



第55回全日本合気道演武大会



日本武道協議会設立40周年記念式典・祝賀会

設立40周年を盛大に祝う



白井日出男理事長の発声で乾杯

日本武道協議会設立40周年記念式典・祝賀会は5月18日、ホテルメトロポリタンエドモント（東京・飯田橋）で来賓、役職員、各武道団体役員など、約180名が集まって盛大に開催された。

式典・祝賀会は、最初に松永光日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶に立ち、続いて高村正彦武道議員連盟会長、高橋道和スポーツ庁次長が来賓祝辞を述べた。その後、白井日出男日本武道協議会・日本武道館理事長の発声で乾杯となり、参加者は声を揃えて祝杯をあげた。

乾杯の後は歓談になり、参加者は日本武道協議会の40周年を思い思いに祝い、日本武道協議会のますますの隆盛と武道の更なる振興普及を誓い合った。



会長挨拶

「皆様方には平素より、武道の振興が何よりも大事だという信念の下に、武道の振興発展にご努力を賜り誠にありがとうございます。これからも我々は武道を振興して、日本は武道精神で国を作り、発展させるという気持ちを持って行動することが重要です。今後とも引き続き日本の武道の発展のためにご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。私も武道の振興のために微力ながら尽くしていきたいと思えます。皆様方のご健勝と本会のますますの発展を祈ってご挨拶いたします。どうもありがとうございました」



松永光日本武道協議会・日本武道館会長



「日本武道協議会が設立されてから、めでたく40周年を迎えました。これからも皆様方のお力で武道がさらに発展をしてみたいです。さらにご協力をよろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます」



白井日出男日本武道協議会・日本武道館理事長

来賓祝辞



高村正彦武道議員連盟会長

「日本武道協議会設立40周年、誠におめでとうございます。お集りの皆様方には、日頃より武道振興発展のためにご尽力をいただいております。まずことに対して心から感謝と敬意を表します。平成24年度より、皆様方のお力で武道必修化が実現されました。仏を作ったら魂を入れなといいけないということで、しっかりと武道関係事業にご協力いただいていることは大変ありがたいことであります。これからも武道必修化事業へのご協力、武道の振興発展にご尽力いただきますことをお願い申し上げます、私のご挨拶といたします」



高橋道和スポーツ庁次長

「日本武道協議会設立40周年に際してお祝いを申し上げます。日本武道協議会は、我が国武道界の中央連絡協議会として昭和52年に設立されて以来、武道の振興発展に大きく貢献されてまいりました。とりわけ、中学校の武道必修化にあたっては日本武道協議会および関係団体の熱心な普及活動が実を結び、平成24年度から中学校の武道授業が必修となりました。これまで武道の振興普及にご尽力いただきました、日本武道協議会、加盟団体である武道9団体及び、公益財団法人日本武道館の皆様のご努力に改めて敬意を表しますとともに、武道のますますの発展を祈念いたします」



日本武道協議会設立40周年を迎えて 各連盟代表者インタビュー



柴田猛全日本弓道連盟会長



松永政美全日本剣道連盟副会長



中里壮也全日本柔道連盟事務局長



植芝守央合気会理事長



笹川堯全日本空手道連盟会長



田中英壽日本相撲連盟副会長

◎中里壮也全日本柔道連盟事務局長
「40周年誠にめでとうございませう。日本武道協議会を通じて9武道が理念を共有して武道の振興を図っていくことは大変意義深いことであると思います。今後とも、皆様方とご協力して更なる発展をしていきたいと思っております」

◎松永政美全日本剣道連盟副会長
「長い間、全日本剣道連盟の役員を務めていますが、日本武道協議会40周年には感慨深いものがありますね。このような盛大な催しは、昔は考えられなかったですから。武道協議会の皆さんは武道の振興普及のために努力されていて、そういった礎いしづながあつてこそ武道の発展はあると思います。だから、武道が良いものだから発展するというのはエゴですよね。皆さんと一緒に40周年を祝えるということは、ありがたいし、すごいと思えますね」

◎柴田猛全日本弓道連盟会長
「日本武道協議会が設立40周年というところで、この間、弓道連盟にとりまして日本武道協議会、あるいは

日本武道館に色々な面でお世話になつて今の発展があるのではないかと思っています。今後日本武道協議会のご協力を得て9武道がさらに発展するようにお互いに協力していきたいと思つていきます」

◎田中英壽日本相撲連盟副会長
「日本武道協議会は、まとまつてきたといえますか、順調に成長してきた感じがしますね。武道協議会といつても、昔はここまで力強い団体ではなかつたです。中学校の武道必修化があつて、特にここ10年発展してきたと思います。武道必修化が、しっかりと根付いてくれれば武道協議会をもっと発展すると思つてます」

◎笹川堯全日本空手道連盟会長
「40周年を迎えたということは、武道関係者にとってはありがたいことです。40年というのは長いようではありますが、まだまだこれからです。もつともつと続いて50年、60年と今後に向けて努力しないといけないと思つています。武道が盛んになれば、自然と武道協議会も盛んになると思っています。今後、日本武道



酒井健全日本統剣道連盟会長 佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長 川島一浩少林寺拳法連盟会長

協議会には小学校高学年から武道に取り組む環境整備の後押しをしてもらいたいですね」

◎植芝守央合気会理事長

「40周年おめでとうございます。各連盟がそれぞれの武道を社会に対して普及振興することを推進する日本武道協議会は、非常に素晴らしい組織だと思います。武道必修化の実現等の実績もありますし、これからは是非、先達から今日に至るまで努力してきたことを大切にして、今以上に武道を社会に普及振興していきたいように皆さんと協力していきたいと思えます」

◎川島一浩少林寺拳法連盟会長

「40周年おめでとうございます。現在連盟では、中学校武道必修化での少林寺拳法の採用校も32校足らずですので、各県に最低2校の採用を、ということを目指して頑張っています。また、高校のクラブ、さらに大学へと継続性を持って若い人たちが生涯修行として取り組めるように、組織全体でやっていきたいと思っています。これからもほかの連盟の

方々と武道発展のために頑張りたいと思います」

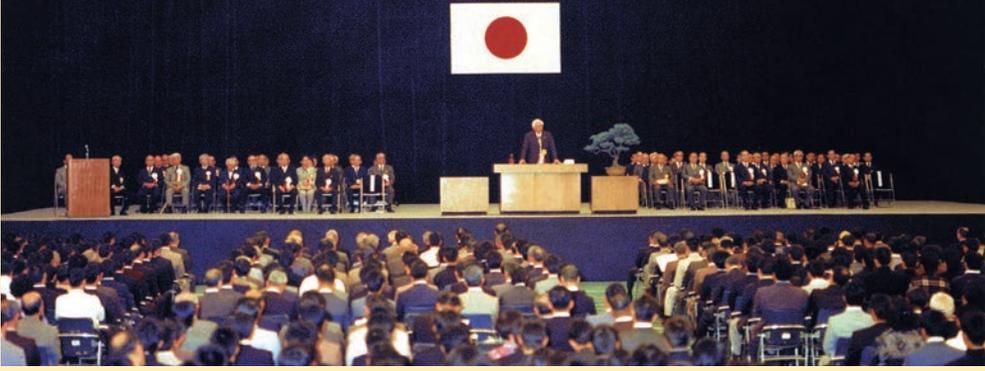
◎佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長

「40周年本当におめでとうございます。先人の大変な努力があつて今日という日を迎えたということで、その努力に敬意を表して、その教えを噛み締めて次の世代に渡していかなければならないですね。なぎなたはようやく学習指導要領の中に明記していただけのことになりましたので、これを弾みにして、しっかりと普及活動に取り組んでいきたいと思っています」

◎酒井健全日本統剣道連盟会長

「40周年という大変長い期間、日本の武道振興のためにご努力されてきたことに対し、心から敬意を表したいと思います。また、その一員として、統剣道連盟が加わって40年が経ったということで、大変感慨深く今日という日を迎えました。学習指導要領に武道9種目が並列して明記されましたので、今後は、連盟として中学校への普及について一生懸命頑張っていきたいと考えています」

日本武道協議会発会式典



日本武道協議会発会式典（昭和52年4月23日）



武道有功者顕彰プレート除幕式（平成16年10月2日）



武道憲章制定記者発表（昭和62年4月23日）

日本武道協議会40年の歩み

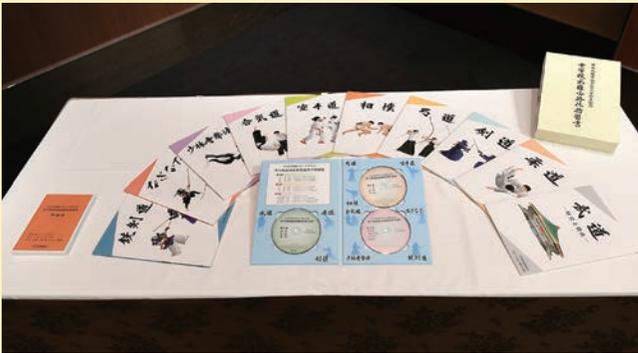
昭和52年 (1977)	4月23日	日本武道協議会発足、日本武道館で発会式
昭和54年 (1979)	1月30日	国会議員・武道議員連盟との共催で第1回武道振興懇談会開催
昭和56年 (1981)	2月18日	武道議員連盟、日本武道館との三者共催で「第1回武道振興大会」開催。武道を学校の必修正課に、との大会決議を採択、文部大臣に提出
昭和57年 (1982)	1月15日	「武道憲章作成委員会」発足
昭和62年 (1987)	4月23日	「武道功労者」「武道優良団体」表彰開始
平成元年 (1989)	3月15日	日本武道協議会設立10周年記念式典を挙行。「武道憲章」制定・発表
平成5年 (1993)	4月1日	中学校・高等学校学習指導要領告示で「格技」が「武道」へ名称変更
平成14年 (2002)	3月13日	全国1万1千の中学校で武道が正課・選択科目となる
平成16年 (2004)	9月16日	「武道振興大会」に小泉純一郎内閣総理大臣が現職総理として初めて出席
平成19年 (2007)	10月2日	日本武道館40周年記念事業として「武道憲章英文翻訳改訂、「こども武道憲章」制定
	2月27日	武道功労者顕彰プレートが完成、除幕式挙行
	2月27日	塩川正十郎日本武道協議会会長が安倍晋三内閣総理大臣に「武道を必修正課に」と請願書手渡し



中学校武道授業（弓道）指導法研究事業
（平成20年）



塩川正十郎日本武道協議会・日本武道館会長が
安倍晋三内閣総理大臣に請願書を手渡す（平成19年2月27日）



完成した中学校武道必修化指導書・DVD

日本武道協議会設立40周年記念事業として、「武道9種目の周知徹底」と「中学校武道必修化の充実」を目的とした中学校武道必修化指導書（10分冊・5万7千部）とDVD（3巻・3万7千部）を平成29年5月18日に作成・刊行した。

完成した指導書とDVDは全国1万余校の中学校、都道府県・市区町村教育委員会、日本武道協議会加盟武道団体及び関係団体、公立図書館等へ無償配布された。

平成29年 (2017)	平成26年 (2014)	平成24年 (2012)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)
5月18日 3月31日	3月1日	2月1日	4月1日	6月24日 5月26日	10月15日	4月27日
日本武道協議会設立40周年記念式典・祝賀会開催 中学校武道必修化指導書(10分冊・5万7千部)とDVD(3巻・3万7千部)を作成・刊行。全国1万余校の中学校、都道府県・市区町村教育委員会、日本武道協議会加盟武道団体及び関係団体、公立図書館等へ無償配布	「武道の定義」制定、文部科学省に提出	全国1万余校の中学校で武道必修化が完全実施	中学校武道必修化に対応した第1回全国中学校(教科)柔道指導者研修会開催(以降、武道9種目の全国武道研修会を実施)	「中学校武道必修化各道共通指導内容」を承認、文部科学省に提出	「武道9種目を並列明記した「武道の理念」制定、文部科学省に提出 中学校武道必修化に向けた初の中学校武道授業(弓道)指導法研究事業を実施(以降、武道9種目の研究事業を実施)	日本武道協議会設立30周年記念式典・祝賀会を挙行。記念事業として「日本の武道」刊行、全国に約2万部無償配布

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

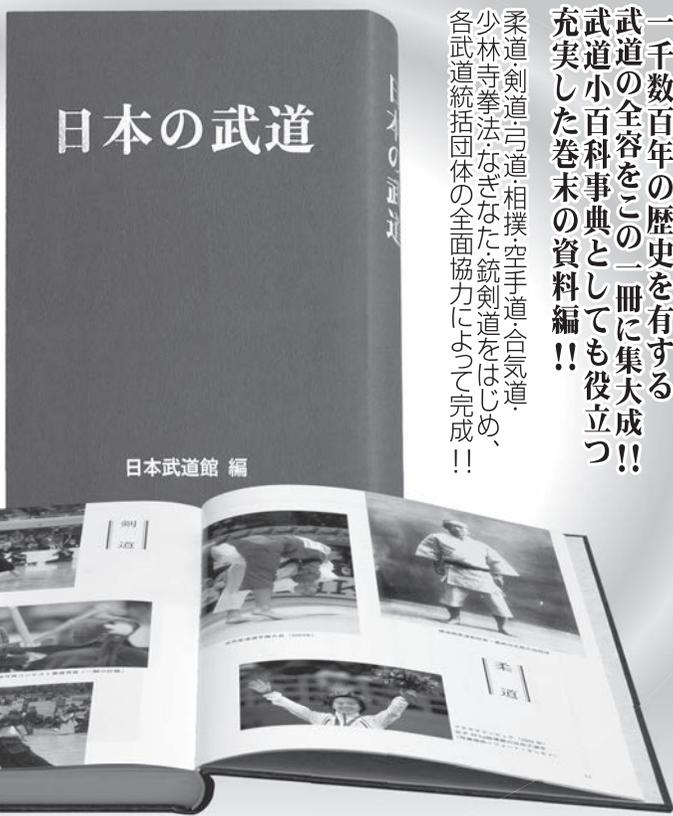
柔道 剣道 弓道 相撲 空手道 合気道
少林寺拳法 なぎなた 銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本の武道

好評発売中!

日本武道館編



(B5判・上製・箱入・526頁)

目次

序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長
武道のすずめ：養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」(武道憲章英訳文)「ごも武道憲章」
カラー口絵(日本武道館・9武道+日武協30年のあゆみ)

第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野覚明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え：
村田直樹 講道館図書資料部長
大保木輝雄 埼玉大学教授

第4節 武道の魅力…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第5節 学校武道の歴史…………… 菅野 純 早稲田大学教授
第6節 武道の教育力…………… (財)日本武道館

第7節 日本武道館…………… (財)日本武道館

第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者
第2節 古武道の技と心……………

第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………
第3節 日本武道学会……………
第4節 日本古武道協会……………
第5節 武道学科等設置大学 ① 国際武道大学 ② 国士館大学
③ 東海大学 ④ 日本体育大学 ⑤ 鹿屋体育大学 ⑥ 中京大学
⑦ 天理大学 ⑧ 筑波大学

第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書……………

(現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中

絵と文 中村麻美 (なかむらまみ)

F4判・上製・98頁・定価(本体2700円+税)

伝えたい日本のところ



中村麻美 (なかむらまみ) 画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室(田中峰雪氏に師事)にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説

挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に『天地人丸紋絵巻』(兼統お船ミュージアム所蔵)、『斎王』(三重県立斎宮歴史博物館所蔵)など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のところ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」——こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。(本書「あとがき」より)

目次

- 1 かしい小僧さん
- 2 ひよどり越え
- 3 天の石屋戸
- 4 巖流島の決闘
- 5 太田道灌と少女の歌
- 6 三本の矢の教え
- 7 山中鹿介―我に七難八苦を与えたまえ
- 8 良寛さまと荷
- 9 民を慈しむ仁徳天皇
- 10 中江藤樹―母への葉
- 11 夫の危機を救う弟橘媛
- 12 良子斎王―別れの御櫛
- 13 桜井駒の別れ
- 14 八俣の大蛇
- 15 川中島の戦い―謙信と信玄
- 16 紅梅内侍と鶯の宿
- 17 新羅三郎義光―笙の秘曲を授ける
- 18 小松姫―夫の居城を守りぬく
- 19 青の洞門
- 20 鍋島直茂と接ぎ木
- 21 小林虎三郎―米百俵の精神
- 22 島津義弘―関ヶ原敵中突破
- 23 光明皇后―千人のからだを洗う
- 24 城戸俊三―勝利を捨てて愛馬を救う
- 25 松坂の一夜
- 26 柳に飛びつく蛙
- 27 称名寺『青葉の楓』
- 28 神武天皇ご東征
- 29 本多忠朝とサンフランシスコ号
- 30 つるべの朝顔
- 31 野中兼山―海に捨てたはまぐり
- 32 鉢の木
- 33 因幡の白うさぎ
- 34 堰忍のわび証文
- 35 橘曙覧『独楽吟』
- 36 南総里見八犬伝
- 37 吉田松陰の志
- 38 鳥居強右衛門の勇気
- 39 明智光春―誉れの湖水渡り
- 40 赤穂義士の討ち入り
- 41 頼朝を助けた梶原景時
- 42 真田幸村―大坂の陣
- 43 天照大御神と美し国・伊勢
- 44 和田勇―祖国にオリンピックを招致
- 45 長岡花火『白菊』



編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第 55 回全日本合気道演武大会



植芝守央合気道道主による総合演武

行雲流水の演武を披露



植芝守央合気道道主



松永光日本武道館会長



山谷えり子参議院議員



植芝充央本部道場長



多田宏本師範

5月27日、日本武道館において第55回全日本合気道演武大会（主催Ⅱ公益財団法人合気会）が開催された。大会には、植芝守央合気道道主ほか合気道本部道場指導部師範、同指導員、全国各地や海外支部などから集まった修業者、8000名が出場し、盛大に開催された。

◇ 大会当日は天候に恵まれ、額に汗がにじむ初夏を感じさせる陽気となった。開場を今か今かと待ちわびる多くの老若男女が列をなし、午前10時30分に開場すると、観客は一斉に館内に詰めかけた。

開会式は定刻の正午に始まり、まず、可児晋大会副会長・合気会理事が開会の辞を述べた。次に植芝守央合気道道主が主催者を代表して挨拶に立った。

「本大会は出場者8000名、観衆を合わせ1万人以上の方々が一堂に会する合気会最大の行事です。本年は会場を日本武道館に移し、ちょうど40年目を迎えます。第一回大会は昭和35年東京代々木の山野ホールで開催され、その時の出場者はわずか

本部道場指導部師範演武



遠藤征一郎本部道場指導部師範



安野正敏本部道場指導部師範



栗林孝典本部道場指導部師範



佐々木貞樹本部道場指導部師範



難波弘之本部道場指導部師範



入江嘉信本部道場指導部師範



桂田英路本部道場指導部師範



鳥海幸一本部道場指導部師範

180名でした。その後、日比谷公会堂に移り、昭和52年第15回大会から、ここ日本武道館を使わせていただき、その時、出場者は1200名でした。それが植芝吉祥丸二代目道主をはじめとする先達の方の合気道を普及、振興する情熱、合気道を真摯しんしに取り組んでこられた方々のお力により、このように大きな大会となりました。私どもはこの流れを大切に、開祖植芝盛平翁が創始された合気道を、次代へ正しく継いでゆくことが責務だと思っております。本日演武される皆様は、先達に感謝の気持ちを持ち、演武に臨んでいただきたいと存じます」

来賓祝辞では、松永光日本武道館会長が挨拶に立った。

「全国の合気道修業者が固唾かたずを飲んで待ち望んでいた全日本合気道大会が、盛大に開催されますことは誠に慶ばしい限りです。合気道は多くの国民に理解をされて広まっています。これからも植芝守央道主のもと、合気道の精神をしっかりと身につけて、心と体を鍛えてください。日本のより一層の発展を図るには、合気道の振興が欠かせません。これか



関昭二本部道場指導部師範



横田愛明本部道場指導部師範



森智洋本部道場指導部師範



小林幸光本部道場指導部師範



藤巻宏本部道場指導部師範



菅原繁本部道場指導部師範



伊藤眞本部道場指導部師範



金澤威本部道場指導部師範



櫻井寛幸本部道場指導部師範

演武会は、学生連盟演武の関東学生合気道連盟から順に開始。大道場に分けられた5つの演武場で、一度に最大5団体が演武を披露した。規定時間1分30秒の間に日頃鍛えた技を存分に披露した。緊張の面持ちで待機していた出場者も、演武の順番

その後、武正公一衆議院議員、高鳥修一衆議院議員、赤間二郎衆議院議員・総務副大臣、山田美樹衆議院議員の登壇挨拶の後、来賓紹介、高村正彦自民党副総裁、松野一博文部科学大臣、小池百合子東京都知事の祝電披露があり、演武に移った。

「世界中に合気道は広がっており、その使命も大きくなっています。感謝いっぱいですが、合気道の道につながる喜びを深く感じながら、お稽古に励みたいと思います。合気道の稽古を丁寧に積み重ねながら相手を尊重する心、和の心、そうしたブレない軸を作っていくことができます大切なことになっていくと思います」

「世界に合気道の精神をもって、しっかりと頑張ってください」
次に、山谷えり子参議院議員が挨拶を行った。

師範演武



嶋本勝行合気道豊中正泉寺道場道場長



小林保雄合気道小林道場総師範



稲垣繁實茨城支部道場指導部師範



竹中日出雄竹豊館師範



畑山憲吾合気道研心会代表



工藤泰助合気道敷島塾師範

が回って来ると伸び伸びとした様子で心地よい汗を流した。第1部の締めくくりには植芝充央本部道場長が立ち技、多人数掛けなど迫力あるしなやかな自由演武を行い、場内からは大きな拍手が送られた。

第2部は、第1部と同様に学生連盟演武から始まり、高校生、中学生のはつらつとした演武が見られた。また、世界各国からの演武披露もあり、熱心に演武に打ち込む様は合気道の国際的な輪の広がりを一層感じさせた。

終盤には快活な本部道場少年部によるいきいきとした演武があり、その後は本部道場一般の部、師範演武、自由演武と続いた。貴重な見取り稽古の機会に参加者の視線は師範たちに注がれた。徐々に会場内には熱気が満たされる。

自由演武の最後を飾るのは本部師範の多田宏九段、御歳87歳ながら逞しい佇まいで淀みなく熟練の技を繰り出し、その円熟した技で観客を大いに魅了した。

そして、大会全体の締め括りに植芝守央合気道道主が演武場に姿を現すと、場内の照明が一際明るくな



坪井威樹合気道月窓寺道場師範代



菅沼守人合気道祥平塾道場長



高本和宜熊本合気会水前寺道場長



木村二郎合気道大阪武育会師範



窪田育弘奈良合気会師範



和田昭名古屋合気会師範



船越光雄山形道場師範

り、観客の期待も最高潮に高まる。道主は基本となる立ち技、座り技、半身半立ち技、太刀取り、杖取り、多人数掛けを披露し、演武を終ると会場は万雷の拍手に包まれた。

道主への花束贈呈後、大会副会長・古藤舜司合気会常務理事が「和合の精神が世界平和に貢献しているのだということをご理解いただきながら、明日からまた一生懸命稽古に励もうではありませんか」と謝辞を述べて、大きな拍手の中、大会は盛会裏に幕を閉じた。

登録道場・社会人団体・学生団体演武

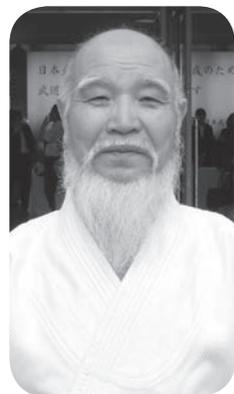


合気道演武大会に参加して



◎西川口合気道クラブ 黒木裕斗さん

「中学1年生です。小学4年生から合気道を始めました。初めての参加で緊張したけど楽しかったです。今日のため稽古を頑張ってきました。父に連れられて参加した合気道体験が楽しくて続けています。これから少しずつ止めずに続けたいです」



◎修練館道場 渋谷力さん

「合気道修行者にとってこの大会は垂涎の的です。今は先生の技を見て、自分の技にできるように少しは動けるようになったと思います。生涯健康で合気道をやるのが一番。後は、私が持っている良いものを弟子に伝えて残したいです」



◎リトアニアイリナ・クシエリヴィチさん

「合気道は五段で、23年間続けています。合気道が好きなので父の勧めで始めました。受けと取りのやり取りがとても面白く、心と身体と精神が鍛えられるところが良いです」



◎法務省合気道部 高崎純さん

「20年以上出場していますが毎回緊張します。練習時間と部員の確保が大変ですが、体を動かしてストレス解消をしたいと入部する者もいます。稽古を十分にできる環境を整え、技の向上を図っていききたいです」



◎新郷合気会 遠藤美津子さん (左)、石川みどりさん (右)

遠藤さん「合気道を始めて20年以上になります。私にとってすごく張り合いになっています。後輩とともに出場させていただくことが何よりの励みです。合気道会員が少なくなりましたので、大人だけでなく子供と一緒に入会してもらえようという目標を立てています。緊張感の中、周りの上手な方の中に入って演武することができて、良い経験になりました。目標は隣の遠藤先生です」



◎倉敷市立西中学校 川西佑尚さん (左)、山田唯月さん (右)

山田さん「初参加です。合気道はお母さんや友達のおかげで始めました。日本武道館で演武ができて良かったです。合気道は終わりがないのでドンドン自分を高めていけます。難しい技はたくさんありますが、頑張ることができるようなことが楽しいです。今度は合気道部の仲間7人全員で演武したいです」

川西さん「お父さんが塾長で、お兄ちゃんとお姉ちゃんに続いて合気道を始めました。いろいろな技を追求するたびにどうやってやるのかとか、これはこうじゃなくてこうなんだとわかる楽しさがあります。いつか歓声が湧くような演武を部員全員でしたいです」

【演武者一覽】

■第1部

- 1 学生連盟演武 関東学生合気道連盟
- 2 指導部師範・指導員演武 桜井寛幸、桂田英路、鈴木俊雄
- 3 指導部師範演武 藤巻宏、入江嘉信、森智洋
- 4 道場演武 合気道等々力道場、合気道目黒道場、習練館道場、合気道自由が丘道場、合気道練馬総合体育館道場
- 5 道場演武 鎌守道場、新小岩合気会、合気道土井道場、麻布道場、東村山市合気道会、日高市合気道同好会
- 6 道場演武 合気道修練道場自然館、奥多摩合気道会、合気道小金井同好会、東大和市合気道会、鈴鹿合気道会武塾
- 7 道場演武 荒川合気会、合気道・武友会、渋谷区合気道同好会、仲池合気道同好会、合気道清進塾
- 8 道場演武 合気道進藤道場、荻窪合気道同好会、葛飾合気会、町田合気会、千葉合気道友会
- 9 道場演武 千葉合気道館、合気道清明塾、合気道正正会、船橋合気道道友会、深谷合気会
- 10 道場演武 合気道大宮道場、A & P 合気道石垣道場、合気道越道場、大宮合気道倶楽部、長野至水会
- 11 道場演武 合気道深合気塾、世田谷合気道クラブ、武蔵村山合気道会、合気道明心会
- 12 学生演武 学生連盟外I、学生連盟外II、学生連盟演武
- 13 道場演武 合気道鈴木道場、草加合気道研究会、世田谷大原合気会、八幡山合気道教室、合気道・鹿沼教室、合気道相模和道会
- 14 道場演武 我孫子合気会、武蔵小杉合気道会、合気道瀧田塾、幸優合気会、守清館
- 15 道場演武 新所沢合気道同好会、新郷合気会、鶴岡八幡宮研修道場合気道会、小田原合気会、合気道弘龍會明心館道場
- 16 道場演武 合気道盛岡道場、合気道誠気会、合気道大河原教室、城東和合会、合気道青葉塾道場
- 17 道場演武 大田区合気道会、合気道野比道場、合気道幸徳会、横浜区合気会、緑水会、古館合気道道場
- 18 道場演武 合気道月窓寺道場、合気道麻生同心会、中央合気守道場、大和合気道クラブ、旭合気道クラブ
- 19 道場演武 尾張合気会、合気道吹上道場、名古屋合気会、岡崎合気道道場道場、合気道名古屋道場
- 20 道場演武 白光大真合気道会、兵庫合気会姫路道場、合気道巴悠会、岡山合気道交流会
- 21 指導者演武 弘中豪治（山口県）、梶本敏弘（大阪府）、高木克吉（青森県）、山口卓（和歌山県）
- 22 指導者演武 北嶋八寿友（奈良県）、三木卓也（兵庫県）、サマティ、ママン・レザ（群馬県）、橋本剛（長野県）、柴田幹士（山梨県）
- 23 師範演武 茨城支部道場指導部師範・大和田幸正、津山合気会師範・石田偉、合気道光林館道場道場長・米谷恵司、合気道京都師範・岡本洋子

- 24 自由演武 合気道豊中正泉寺道場道場長・嶋本勝行、合気道教馬塾師範・工藤泰助
- 25 道場演武 合気道研究会インターナショナル、葉山町合気会、桜台合気道クラブ、合気道春水道場、合気道凱風館
- 26 道場演武 合気道大阪武気会、奈良合気会、大阪合気塾、和氣會、合気道大阪道友会
- 27 道場演武 合気道道心会、合気道京都、合気道桶川愛気会、和合合気道修練道場、南海合気会
- 28 道場演武 高松合気会、鷹の台合気道同好会、野田合気会、湘南翡翠合気道クラブ、合気道南葉塾
- 29 道場演武 相合合気会、藤沢合気道倶楽部、寒川合気会、綾瀬市、海老名市合気会、相模合気道連盟
- 30 道場演武 合気道白河道場、合気道石田塾、郡山合気会、合気道修成道場、西川口合気道クラブ
- 31 道場演武 合気道石巻塾グループ、目黒区合気道連盟、合気道花見川道場、佐倉合気会、文京区合気会
- 32 道場演武 相生道場、ひたなか合気会、宇宙の会、広島合気会、浦和尾木合気会
- 33 道場演武 合気道新川塾、合気道神武錬成塾、大成合気道会、合気道唯心館野道場、船橋合気塾
- 34 道場演武 流山合気会、新星合気会、成城合気道クラブ、合気道小嶋会、若狭スポーツ合気道教室
- 35 社会人団体演武 経済産業省合気道部、東京消防庁合気道部会、国際協力機構（J A I C A）、合気道部
- 36 社会人団体演武 松本市役所合気道部
- 37 社会人団体演武 東京都合気道部、朝日合気会、法務省合気道部、志念会、国立印刷局合気道部
- 38 社会人団体演武 銀行合気道部、ソニー合気会、富士通合気道部、三井住友銀行合気道部、合気道龍会
- 39 社会人団体演武 N H K 合気道部、宏心会、N T T 東日本東京合気道部、城南合気会、奈良合気会福原市役所合気道部
- 40 連盟演武 品川区合気道交友会、I H I 合気道、沼津工場合気道部
- 41 連盟演武 茨城県合気道連盟（取手、石岡、笠間市、つくば、土浦、つくば、曙、かずみがうら）
- 42 連盟演武 水戸
- 43 連盟演武 合気道千葉連盟、北海道合気道連盟（千代田合気会）、新潟県合気道連盟、和歌山合気道連盟、愛媛県合気道連盟（合気むすび道場、秋山兄弟道場、合気坊、ちやう道場）
- 44 連盟演武 神奈川県合気道連盟、愛知県合気道連盟、山口県合気道連盟、奈良県合気道連盟
- 45 連盟演武 群馬県合気道連盟、大阪府合気道連盟、高知県合気道連盟、岡山県合気道連盟
- 46 連盟演武 東北合気道連盟、宮城県、福島県合気道連盟、東北合気道連盟、秋田県、山形県、東北合気道連盟、青森県、岩手県
- 47 指導者演武 加藤幹也（埼玉県）、飯島道高（茨城県）、不破寛（愛知県）、飯田幸子（静岡県）、福原良一（香川県）、飯田幸子、静岡県、D・ロラン（千葉県）、西村美佐子（東京都）、小谷達也（宮崎県）、川地利明（岐阜県）

- 47 茨城支部道場指導部指導員演武 磯山俊博、永島義和、平澤孝次、秋本英裕、川上俊明
- 48 師範演武 山形道場、船橋合気会、本澤俊三、館林合気道クラブ、船越猛
- 49 師範演武 合気道月窓寺道場師範代、坪井威樹、合気道大阪体育会、木村二郎
- 50 社会人団体演武 防衛省合気道連合会
- 51 合気道学校演武 上級課程、中級課程、初級課程
- 52 指導部師範演武 基本技授け、小山雄一、内田直人、日野正
- 53 指導部師範・指導員演武 基本技授け、難波弘之、伊藤真、佐々木貞樹、里館潤
- 54 師範演武 鳥海幸一、栗林孝典、金澤威
- 55 自由演武 本部道場長・植芝充央

- 1 学生連盟演武 関西学生合気道連盟、中部学生合気道連盟、中、四国学生合気道連盟、北海道学生合気道連盟、東北学生合気道連盟
- 2 高等学校連盟演武 全国高等学校連盟
- 3 中学生演武 中学校演武
- 4 文化センター演武 N H K 文化センター合気道教室、朝日カルチャーセンター（立川、東急セミナーB E 二子玉川、合気道銀座養生会、成増ロフトフイットネスタジオ合気道教室
- 5 文化センター演武 よみうりカルチャー（京葉・恵比寿、横浜・大森川口、北千住・八王子、町田・川崎、大宮・錦糸町、自由が丘）
- 6 文化センター演武 日本武道館武道学園、カルチャースター（相模原・南林間・三ツ境、えきスポらめじま、麹町合気会、大泉合気道同好会、華凛会
- 7 海外道場演武 ポーランド、リトアニア、ニュージーランド、トルコ、韓国
- 8 海外道場演武 アルゼンチン、メキシコ、ロシア、ミャンマー
- 9 指導者演武 吉川聡（神奈川県）、大平恵司（香川県）、村上樹（新潟県）、青柳圭幸（熊本県）、米川利水（三重県）
- 10 指導者演武 井後義世（京都府）、齋藤晋弥（福岡県）、五十嵐隆行（北海道）、笠井正勝（栃木県）
- 11 自由演武 熊本合気会水前寺道場道長、高本和宜、竹豊館師範、竹中日出雄
- 12 道場演武 浦和川合気会、秩父合気道進修館、入間幸武館道場、合気道川越道場、川口芝合気会、神戶せいぶ館、立川市合気道会、白光大合気道船橋道場
- 13 道場演武 新宿スポーツセンター合気道教室、北総合気会、久喜合気道同好会、双峰合気道会、江東区合気会
- 14 道場演武 合気道小林道場（東京・群馬、京都、国際部、北海道・富山、宮崎・福岡、神奈川・埼玉）
- 15 道場演武 中野区合気道会、中央区合気道会、新宿合気会、千代田区合気会、港区合気会
- 16 道場演武 調布合気道会、北区合気道会、板橋区合気道連盟、八千代市合気道連盟、江戸川区合気道連盟
- 17 指導者演武 王生川壽志（岡山県）、吉田洋孝（宮城県）、黒田隆宏（愛知県）、伊藤崇一（山形県）
- 18 師範演武 渡辺好文、日高浩、野村直美
- 19 社会人団体演武 日経合気道クラブ、株式会社廣済堂合気道部、みずほ証券合気道部、合気道正隆会、シビル合気道部
- 20 社会人団体演武 三菱合気道部、裁判所合気道部、東京税理士会麻布支部合気道部、理双会、公認会計士合気道同好会
- 21 社会人団体演武 明治大学教職員合気道倶楽部、東芝合気道部、川崎市役所合気道部、横河電機合気道部、小牧合気会、玉禅寺合気道場、合気道入江道場、合気道横須賀、合気道れいめい会
- 22 社会人団体演武 藤合気道会、市原合気会、小山合気会、江戸崎合気会、合気道心づ
- 23 社会人団体演武 青山会、つばき牛久合気道友会、池袋合気道同好会、戸田市スポーツセンター合気道教室、合気道吾勝会、鎌ヶ谷合気会
- 24 道場演武 合気道江堂道場、西新宿合気会、合気道自灯館道場、甲府合気会、横浜国際合気道会
- 25 道場演武 茨城支部道場、合気道祥平塾、合気道龍野塾、合気道正武会、志願会
- 26 道場演武 沼津合気会、山梨行徳館道場、一宮合気会、京都合気会、合気道福道和光道場
- 27 道場演武 合気道堀越道場、京都近江合気会、合気道三澤塾、東京合気道道友会、相模原武道学園
- 28 道場演武 N P O 法人相模原市合気道連盟、多摩合気会、志木合気会、大阪合気会、浜風合気道会
- 29 道場演武 合気道奥州道場、青雲塾、小保合気道会、合気道錬成会、流山合気道同好会
- 30 道場演武 合気道明倫塾、合気道里見八頭会、合気道研修館、袖ヶ浦合気会、合気道ふれあい塾
- 31 道場演武 裾野合気会、合気道岐阜一元会、愛川合気道会、天・之武産合気塾道場
- 32 本部道場少年部演武（稽古法）本部道場少年部
- 33 本部道場一般演武（稽古法）本部道場一般I、II、III、IV、V
- 34 師範演武 合気道道心会代表、畑山憲吾、相生會師範・堀井悦二、合気道鈴木道場道場長・鈴木順子
- 35 師範演武 合気道五十嵐道場道場長・五十嵐和男、合気道神武錬成塾塾長・白川勝敏、合気道福島武道館館長、追分拓哉
- 36 師範演武 横田愛明、小林幸光、菅原繁
- 37 師範演武 稲垣賢賢
- 38 自由演武 安野正敏、関昭一
- 39 自由演武 合気道小林道場師範代、小林保雄、合気道祥平道場長・菅沼守人
- 40 自由演武 遠藤征四郎、名古屋合気会師範、和田昭
- 41 自由演武 多田宏

IOC理事会、東京2020オリンピック競技大会の実施種目発表

柔道の男女混合団体戦が決定

6月9日にスイス・ローザンヌで

開催されたIOC臨時理事会にて、

東京2020オリンピック競技大会の種目プログラム（実施種目）と選手数の上限が発表された。なかでも

日本武道館で競技が行われる柔道では、初めて男女混合団体戦（男女各

3名・6人制）が実施されること正式に決定した。柔道は男女各7階級に男女混合団体を加えた次の全15

種目が実施される。

限は1万616人。また、2016

年8月のIOC総会で既に決定して

いる東京2020提案の追加種目（空手など5競技18種目）を加えた

実施種目数は39種目、選手数の上限は1万1090人となる。



森喜朗
東京オリンピック・パラリンピック委員会
組織委員長

「先ほど、IOCより、本日の臨時

理事会で、東京2020オリンピックの全種目が決まったとの連絡がありました。議論の詳細については、

まだ明らかになっておりませんが、まずは、大会の全種目が決まったこととは、大変喜ばしいと思います。

なかでも、多年にわたり、国際柔道連盟から強い要望があり、我が国柔道界待望の男女混合団体戦が採用されたことは、誠に喜ばしいことです。……（中略）…… 本日の新

▽60kg級（男子）

▽66kg級（男子）

▽73kg級（男子）

▽81kg級（男子）

▽90kg級（男子）

▽100kg級（男子）

▽100kg超級（男子）

▽48kg級（女子）

▽52kg級（女子）

▽57kg級（女子）

▽63kg級（女子）

▽70kg級（女子）

▽78kg級（女子）

▽78kg超級（女子）

▽団体（男女混合6人制）

東京2020オリンピック競技大会では、既存の28競技において実施される種目数は321種目、選手数の上

種目の採用と、昨年正式に採用が決まった5競技18種目を合わせて、バツハ会長が言う、若者を強く惹きつける新しいオリンピックの姿に一步近づいたのではないかと思います。

なお、今回の決定にあたっては、コストの増加につながらないようIOCに十二分に申し入れをしていました。素晴らしい種目プログラムにしたがっていただいた、バツハ会長、コッツ委員長に敬意を表したいと思います」



山下泰裕
全日本柔道連盟
副会長

「東京2020オリンピック競技大会における柔道の男女混合団体種目の追加が、IOC臨時理事会において承認されたという報告を受け、柔道家の1人として大変喜ばしく思っております。この場をお借りし、今回の追加種目申請にあたりご支援、ご協力をいただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

1964年東京においてオリンピック競技に初めて採用された柔道

に、同じ東京の地で団体種目に加わり、日本国民の皆様や世界中の柔道ファンに新たな感動をお届けできることは、選手にとってこの上ない名誉だと思えます。

この歴史的な団体種目の金メダルを獲得すべく、選手達は一層日々の稽古に励むでしょうし、史上初めて1人の柔道選手が一回のオリンピックで複数のメダルを獲得できるチャンスが生まれたこととなり、これを機に新世代のスター選手達が誕生する事を期待しております。

男女混合団体種目は、IOCのアジェンダ2020の提言にある男女平等の精神の象徴として、世界中が注目する存在となるでしょうし、女性の競技参加の奨励や、男子選手の競技力向上に重点が置かれている国々における女子選手の地位向上という点でも力強いメッセージを送ることができると信じております。

引き続き皆様のお力添えを賜ながら、8日間開催となった柔道競技はもちろん、東京2020オリンピック競技大会全体の成功に寄与すべく、日本柔道界一丸となって邁進していく所存です」（全柔連HPより）

好評発売中

漫画家
別府大学客員教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道の偉人たち

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯を描く！



B5判・並製・302頁・本体1000円十税

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。

人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道の現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。

大人も子どもも読んで楽しく、歴史も学べる武道教養マンガ。



収録偉人一覧

嘉納治五郎(柔道) 高野佐三郎(剣道) 阿波研造(弓道) 双葉山(相撲)
船越義珍(空手道) 植芝盛平(合気道) 宗道臣(少林寺拳法)
園部秀雄と美田村千代(なぎなた) 鶴沢尚信(銃剣道)

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ



(B5判・236頁)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

合気道は4話を掲載！



多田宏先生



磯山博先生



菅沼守人先生



東北大学学友会合気道部

第39回全日本高齢者武道大会



寿A組決勝=宮崎克己（右）が小手を決める

宮崎克己（福岡）が 剣道・寿A組で3連覇達成！ (85歳以上)

55歳以上の高齢剣士が剣道、銃剣道の覇を競う第39回全日本高齢者武道大会（主催Ⅱ一般財団法人全国老人福祉助成会）は6月5日、日本武道館で開催された。

大会には、北は北海道から南は沖縄まで34都道府県の高齢剣士704名が参加。80歳以上の選手も71名が参加した。各試合場にて高齢剣士たちは、年齢を感じさせない元氣潑刺とした試合を展開した。

試合は、剣道、銃剣道ともに県別団体戦と、年齢別に組を分けての個人戦が行われた。

午前9時より開会式が始まり、開会宣言、国歌斉唱に続いて物故者への黙禱を行い、この1年間で天寿を全うされた剣士の冥福を祈った。

次に大会会長の成本善一全国老人福祉助成会理事長、岩立三郎全日本高齢剣友会会長が挨拶を行った。来賓祝辞、功労者顕彰、審判長挨拶に引き続き、後藤春次選手（三重）が力強く選手宣誓を行った。

開会式終了後、日本剣道形、居合、銃剣道の形が披露され、13の会場に分かれて試合が行われた。

剣道

▽寿A組(85歳以上)

寿A組の決勝戦は、3連覇がかか
る宮崎克己(福岡)と、3年前の優
勝者である林学(静岡)の対決とな
った。試合は延長戦で宮崎の思い切
った小手が決まり、宮崎が3連覇を
果たした。

▽寿B組(80歳〜84歳)

寿B組は、上田憲幸(福岡)と藤
井勝丸(広島)が決勝に勝ち進んだ。
決勝は、上田が延長戦で面を決めて
優勝した。

▽内閣総理大臣賞争奪戦

寿A組と寿B組、それぞれの優勝
者で争われる内閣総理大臣賞争奪戦
は、寿B組優勝者の上田が怪我のた
め棄権し、宮崎が3年連続で内閣総
理大臣賞を受賞した。



宮崎克己選手(福岡)

▽男子団体戦

男子団体戦決勝は福岡県と山形県
が対戦。勝者数1―1で迎えた大将
戦で、福岡県の宮崎が面、小手を連
取して、福岡県が優勝した。

◎内閣総理大臣賞・寿A組優勝・男子 団体戦優勝Ⅱ宮崎克己選手(福岡)

「福岡県チームは、各人が違う場所
で稽古をしています。私自身は週に
2回くらい稽古をしています。個人
戦では、今回で7回目の優勝をする
ことができました。教え子たちが大
きくなって、今はその教え子たちに
鍛えてもらっています。来年も元氣
だったらまた出場して、優勝を目指
して頑張りたいと思います」

◎寿B組優勝Ⅱ上田憲幸選手(福岡)

「内閣総理大臣賞争奪戦の棄権に
ついて)足の裏を捻挫(ねんざ)していて、無



上田憲幸選手(福岡)

理をして試合をすると肉離れを起こ
しそうだったので辞退しました。こ
の大会への出場は一つの励みになり
ますし、身体が動く限り出場し続け
たいですね」

▽女子個人戦
女子個人戦の決勝は、大島安子(大
阪)が佐々木敦美(岩手)に延長戦
で面を決め、初優勝を果たした。

◎女子個人戦優勝Ⅱ 大島安子選手(大阪)

「しっかりとした有効打突が出せれ
ばいいなと思って試合に臨みまし
た。団体戦は全然ダメでしたが、個
人戦からは少しずつ自分の目指す打
ちが出せたのかなと思います。普段
は週に3回から4回は稽古をしてい
ます。来年もまた仲間と一緒に来ら
れたらいいなと思います」



大島安子選手(大阪)

▽女子団体戦

女子団体戦の決勝は長野県と神奈
川県が対戦。長野県先鋒の青木が二
本勝ちし、勝者数1―1、取得本数
2―1で長野県が優勝した。

◎女子団体戦優勝Ⅱ 青木徳子選手(長野)

「月1回、高齢剣友会という稽古会
で3人集まって一緒に稽古していま
す。それ以外にも子どもたちを教え
ながら稽古をしています。今までい
つも1回負けだったので目標は1
回突破でした。それが、予想外の
初優勝となりました。来年も優勝で
きるように頑張ります」



女子団体戦決勝=長野県・青木(右)が面を決める

銃 剣 道

▽団体戦

団体戦決勝は、北海道と東京都多摩の対戦。勝者数、取得本数ともに同数で迎えた大将戦で、北海道の神村が上胴を決め、北海道が2連覇を果たした。

◎団体戦優勝Ⅱ神村悦夫選手(北海道)

「北海道は広いので全員が集まって稽古をすることは難しく、チームのメンバーはそれぞれ違う場所稽古をしています。私自身は子どもたちを教えながら毎週稽古しています。去年、初めて3名揃ってチームを組



団体戦決勝＝北海道・神村(左)が上胴を決める

み、優勝することができました。今年も去年と同じメンバーが集まり、そして2連覇を達成することができ、本場に運が良かったと思います」

▽A組(75歳以上)

A組の決勝戦は寺田信一(愛知)と武田康二(青森)の顔合わせとなった。試合は寺田が上胴を決めて2年ぶりの優勝を果たした。

◎A組優勝Ⅱ寺田信一選手(愛知)

「今は激しい稽古はしていないのですが、外国人夫妻を教えながら稽古をしています。最近では、その夫妻の奥様の母国であるポーランドにも行って、銃剣道を教えてきました。受けるだけではありませんが、週に3回から4回稽古をしています。今回の大会では、自分の技を出し切ろうと心がけて試合に臨みました。膝と



寺田信一選手(愛知)

腰を痛めています。いざ防具を着けて試合に臨むと不思議と痛みがなくなるんです。今年で80歳になりましたが、それなりにまだ身体は動くのかなとは思っています。来年もまた優勝を目指したいですね」

▽B組(65歳～74歳)

B組は對馬孝利(青森)と小出秋夫(静岡)が決勝に勝ち進み、對馬が上胴を決めて優勝した。

◎B組優勝Ⅱ對馬孝利選手(青森)

「愛好会をつくって週に1回稽古しています。なかなか仕事の都合で全員が揃うことは難しいですが、健康のためにみんな頑張っています。私自身、アキレス腱を切っていました。3年ほどこの大会には出場していませんでした。今回はリハビリを兼ねて出てみようと思えました。試



對馬孝利選手(青森)

合は思いのほか動くことができて良かったです」

▽C組(55歳～64歳)

C組決勝は田原一晃(北海道)と渡邊清吉(東京)の対戦。試合は田原が上胴を決めて勝利。田原は、団体戦との2冠に輝いた。

◎C組優勝Ⅱ田原一晃選手(北海道)

「今年初めて全日本銃剣道優勝大会に出場して、その時の経験を活かして優勝することができたのかなと思います。先鋒を務めた団体戦では準決勝、決勝と私が負けてしまっていて、先輩方に助けていただきました。個人戦では迷ったらダメだと思い、変に考えすぎないで自分を信じて剣を出したところで技が決まったことが多かった。来年もまた出られたらいいと思います」



田原一晃選手(北海道)



剣道女子団体戦優勝＝長野県



銃剣道団体戦優勝＝北海道



剣道男子団体戦優勝＝福岡県

大会結果

	組名	争奪戦	優勝	準優勝	3位
剣道	寿A (85歳以上)	内閣総理大臣賞 宮崎 克己 (福岡)	宮崎 克己 (福岡)	林 学 (静岡)	西村 壽雄 (栃木) 平山 二郎 (東京)
	寿B (80歳～84歳)		上田 憲幸 (福岡)	稲村 宗一 (栃木) 伊藤 宗裕 (青森)	
	特 (75歳～79歳)	出口 博己 (北海道)		川村 博昭 (愛媛)	福田 健治 (埼玉) 上北 鞠也 (愛知)
	A (70歳～74歳)	大場 智雄 (神奈川)		浜口詩千浪 (栃木)	岡野 泰隆 (神奈川) 秋田 範正 (東京)
	B (65歳～69歳)	木村 隆一 (長野)		千葉 昭一 (茨城)	大久保和彦 (神奈川) 荻原 正夫 (東京)
	C (55歳～64歳)	佐藤 和義 (神奈川)		長谷川恵一 (三重)	上原 宏 (埼玉) 鎌田 裕一 (岩手)
	男子団体	福岡県		山形県	神奈川県 愛媛県
	女子個人戦	大島 安子 (大阪)		佐々木敦美 (岩手)	沼尻 克子 (東京) 坂田 文子 (東京)
	女子団体	長野県		神奈川県	岩手県 東京都
銃剣道	A (75歳以上)	寺田 信二 (愛知)		武田 康二 (青森)	神村 悦夫 (北海道) 大野 実 (埼玉)
	B (65歳～74歳)	對馬 孝利 (青森)		小出 秋夫 (静岡)	山田 道夫 (栃木) 寺阪 清仁 (愛知)
	C (55歳～64歳)	田原 一晃 (北海道)		渡邊 清吉 (東京)	渡邊 正一 (東京) 相野 照昭 (青森)
	基本技 (55歳以上)	渡邊 正一 (東京)		小串 良廣 (東京)	渡邊 清吉 (東京) 山田 道夫 (栃木)
	団体	北海道		東京都多摩	愛知県 群馬県

山神眞一 著 (香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段)

役に立つ少年剣道指導法

好評発売中

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。
付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間115分を超える映像で紹介。

解説DVD付属!



A5判・並製・
256頁・DVD付・
本体2400円＋税

目次

第一章 一眼子どもと少年剣道の今を眼る
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声

第二章 一足少年剣道の足跡とこれから
現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る

第三章 三胆指導者の胆力を求めて
少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意

第四章 四力技の力を学ぶ
剣道のアイスブレイキング／礼法について

立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しと段階的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方

第五章 残心

海外での剣道事情／中学校における剣道授業
あとがき

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

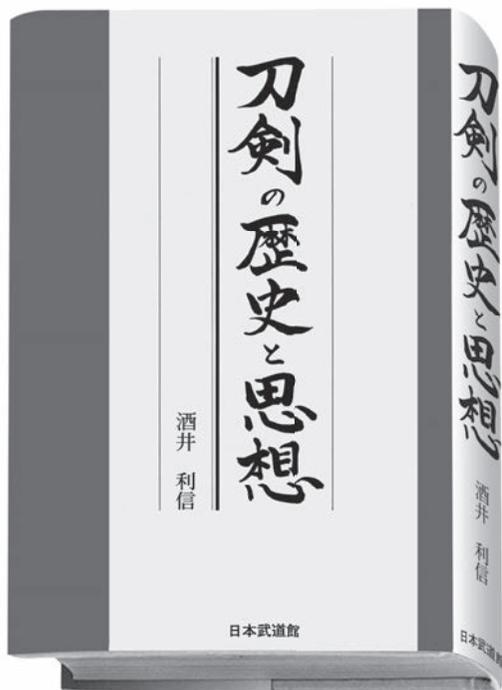
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著
四六判・上製・346頁・本体2400円十税

刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

目次

終章	『稽古照今』
第六章	近現代における刀剣思想
第一節	古代以降の刀剣思想
第二節	鹿島神宮日本刀奉納鍛錬
序章	探求の旅をはじめめるにあたって
第二章	刀剣の歴史
第三章	刀剣思想の源流
第一節	古代中国の宝剣伝説
第二節	干将莫耶の宝剣伝説
第三節	高祖の斬蛇剣
第四節	道教と剣
第五節	古代朝鮮の刀剣思想
第一章	神話的イメージの形成
第一節	神話的世界の形成と剣神の誕生
第二節	天より降る剣 節靈剣
第三節	天地を繋ぐ剣 草薙剣
第三章	信仰のなかの刀剣思想
第一節	祀る剣 祀られる剣
第二節	辟邪の呪剣
第三節	うけいの呪術と剣
第四節	修験道と剣
第四章	中世における刀剣思想
第一節	三種の神器の不思議
第二節	『平家物語』にみる三種の神器
第三節	『太平記』が語る草薙剣像
第五章	近世剣術における刀剣思想
第一節	剣術伝書に語られる日本神話
第二節	新当流にみる霊剣の技術
第三節	示現流にみる心の利剣
第四節	近世剣術における刀剣思想の展開

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第63回関東学生剣道選手権大会

宮本敬太(国士舘大)が関東を制す



決勝Ⅱ宮本敬太(左)の面が一瞬早く決まる

第63回関東学生剣道選手権大会は5月14日、日本武道館で開催された。大会には96大学の501名が出場し、序盤から熱戦が繰り広げられた。

決勝は宮本敬太(国士舘大)と筒井雄大(筑波大)の4年生同士の対決となる。試合は宮本が果敢に攻めて、面、小手を連取し初優勝を飾った。国士舘大学としては、昨年の矢野貴之に続き2年連続16回目の優勝となった。

また、上位32名に勝ち残った選手と、敗者復活戦として行われた全日本出場決定戦を勝ち上がった28名の計60名が、7月23日に大阪で行われる第65回全日本学生剣道選手権大会の出場権を獲得した。

■準決勝

前年度優勝の矢野貴之(国士舘大)、昨年の全日本学生選手権で優勝した山田凌平(明治大)、平成26年の全日本学生選手権優勝者の梅ヶ谷翔(中央大)が序盤で敗退する中、準決勝に名を連ねたのは筒井雄大(筑波大)、山本冬弥(国士舘大)、宮本敬太(国士舘大)、星子啓太(筑波大)の4名であった。

筒井雄大 メー 山本冬弥

初太刀で山本が面に飛ぶ。しかしそれを筒井が読んでいたかのように上手く引き込み、出頭面を決めて先制する。山本も筒井が下がったところでに思い切った面を繰り出す。惜しくも旗は一本しか上がらない。山本はその後引き胴、逆胴と技を出すものの筒井が冷静に捌き、時間となって勝負あり。筒井が決勝に駒を進めた。

宮本敬太 コー 星子啓太

試合開始2分半、お互いに勢い良く面に飛ぶが旗はどちらにも上がらない。その後も両者が技を出すものの決め手を欠き、延長戦に突入する。延長戦も膠着した展開となるが、試合開始8分過ぎに星子が宮本の小手を返して面を繰り出す。しかし宮本の小手がわずかに速く決まり、宮本が決勝に進んだ。

敗れた星子は、1年生ながら上級生を相手に序盤戦から落ち着いた試合を繰り広げた。昨年のインターハイでは個人、団体ともに優勝した星子。大学生となった今後の活躍に期待したい。



準決勝Ⅱ筒井（左）対山本



準決勝Ⅱ宮本（右）対星子

■決勝

宮本敬太 メコー 筒井雄大

試合開始1分過ぎ、お互い面に飛ぶが宮本の面がわずかに早く決まり宮本が先手を取る。ここで筒井が左足を痛め、試合が一時中断となる。

二本目初太刀、何とか取り返したい筒井だが宮本の攻めに手元を浮かせ、その隙を宮本は見逃さずに小手を捉え、勝負を決めた。

昨年11月の全日本選手権で大学生ながら3位入賞を果たした宮本が、この日も攻めに徹した剣道で念願の初優勝を果たした。



◎優勝Ⅱ宮本敬太選手（国士舘大）

「自分が目指している剣道、自分がやってきた剣道を出し切れ



○準優勝Ⅱ筒井雄大選手（筑波大）

れば結果が出るかと信じて、自信を持って試合をすることができました。準決勝で対戦した星子選手とは何度か稽古をしたことはありますが試合は初めてでした。決勝戦で対戦した筒井選手とは小学生の頃から何度も試合をやっていて、このような舞台でもまた試合ができるのは嬉しいとも思っただし、勝ちたいという強い気持ちもありました。これからは周りから警戒されると思いますが、自分らしさを出して試合ができれば7月の全日本でもいい結果が出ると思うので、頑張っていきたいです」

「最初の面は完全に出遅れてしまい、二本目の小手も手元が上がり

がったところを上手く合わせてしまいました。怪我は全日本選手権までには治るそうなので、しっかり治療して臨みたいです」

【大会結果】

◎優勝Ⅱ宮本敬太（国士舘大）

○準優勝Ⅱ筒井雄大（筑波大）

▽第三位Ⅱ星子啓太（筑波大）

山本冬弥（国士舘大）

▽敢闘賞Ⅱ初田 彪（筑波大）

貝塚泰紀（日本体育大）

津田祐輝（明治大）

藤野聖那（國學院大）

▽その他の全日本大会出場者

（氏名のみ）Ⅱ山崎啓佑、早川

郁也、伊藤謙剛、藤本寛大、

田上敬之、石田宏平、岡健士郎、

黒木伊織、齋江貴大、杉野翔耶、

矢野貴之、齊藤尚平、佐藤孔拓、

齊藤教世、増田滉士、田畑祐輔、

長尾迪、秋吉涼平、安藤修平、

平野青地、森光聖、了戒一彰、

梅ヶ谷翔、川井太誠、松井航

汰、木屋光晴、田内雄大、川

村太郎、八木健登、五十嵐玲

音、小室雄一、我妻拓、三山宙、

三輪佳史、大津翔太郎、前田

頌悟、黒木誠、齊藤奨、平山

直輝、梶谷彪雅、千田海、鈴

木慶士、菊地元貴、津野崎秀哉、

今村圭太、澤田武秀、古田智也、

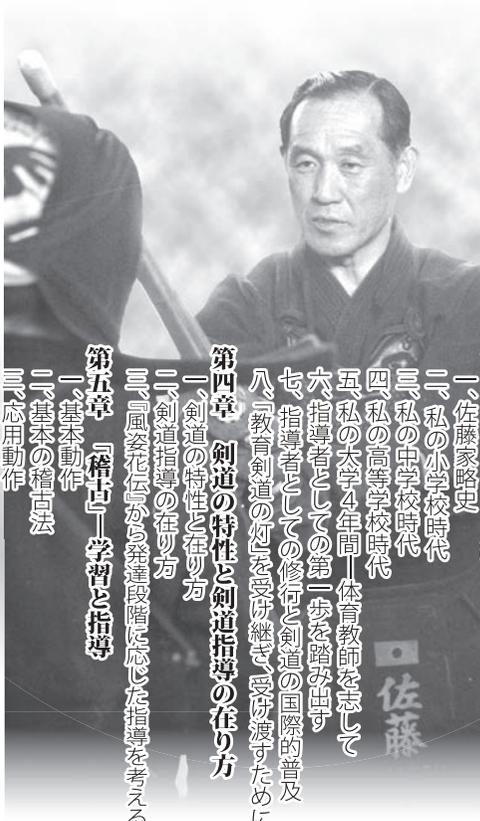
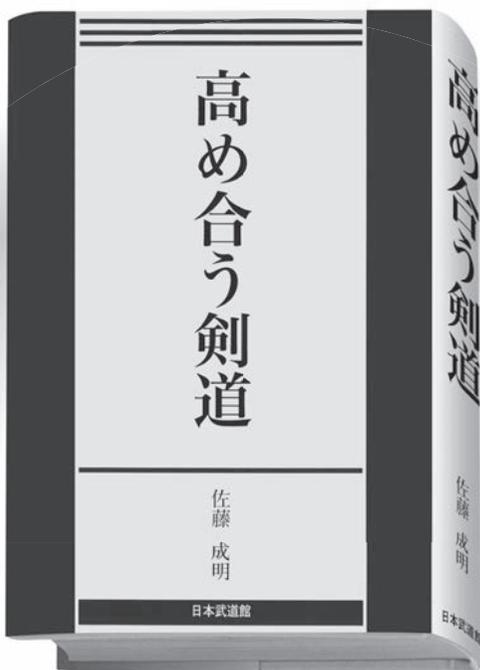
国安和葉、中根悠也、小川熙、

安井奎祐、久田松雄一郎

好評発売中

高め合う剣道

筑波大学名誉教授 佐藤 成明 著



目次

第二章 剣道小史―剣技・剣術・剣道の歴史

一、奈良時代〜江戸中期―

闘争の技術から竹刀剣術の誕生まで

二、江戸時代中期以降〜現在―剣術から剣道へ

第三章 剣道と教育

一、教育に関する基礎知識

二、「三育思想」

三、「教育基本法」と「学習指導要領」

四、「礼」の教育について

第三章 自分史を綴ぐ

一、佐藤家略史

二、私の小学校時代

三、私の中学校時代

四、私の高等学校時代

五、私の大学4年間―体育教師を志して

六、指導者としての第一歩を踏み出す

七、指導者としての修行と剣道の国際的普及

八、「教育剣道の灯」を受け継ぎ、受け渡すために

第四章 剣道の特性と剣道指導の在り方

一、剣道の特性と在り方

二、剣道指導の在り方

三、「風姿花伝」から発達段階に応じた指導を考える

第五章 「稽古」―学習と指導

一、基本動作

二、基本の稽古法

三、応用動作

四、稽古への取組方と方法

五、剣道における形の重要性

第六章 試合について

一、試合(一)―先達の文献から

二、試合(二)―剣道の「術理」

終章 高め合う剣道

一、稽古の意義と心得

二、剣道に関する古今の訓え

三、互いに学び高め合う教育剣道のために

“互いに学び高め合う教育剣道のために”

先達が心血を注いで残した「教育剣道の灯」を、正しく受け継ぎ、次代へ正しく受け渡すために、教育剣道の実践者として長年の経験をもつ筆者が、古今の文献を手掛かりに日々の修練で大事な事柄を綴る。

これからの剣道の在り方、すべての剣道を学ぶ者が「互いに学び、高め合う剣道」の在り方を考えるために必携の一書。

四六判・上製・564頁・本体2,400円十税

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

杉江正敏

(すぎえ・まさとし)

写真と記事でたどる

武道の近代史



月刊『武道』1999年1月号から2001年3月号までの27回連載をまとめた杉江正敏先生のライフワーク。明治以降出版された諸雑誌の記述から、武道を取り巻く日本文化や、体育・スポーツ全般にわたる内容を掲載した記事を紹介する形で、武道がどのように近代化へと歩みを進めてきたのかを明らかにするための基礎資料集。

※本書は非売品のため、書店では取り扱っておりません。日本武道館出版広報課に直接お申し込みください。

杉江正敏先生の略歴

- 1946(昭和 21)年 12月11日 岐阜県不破郡垂井町に生まれる
- 1969(昭和 44)年 東京教育大学体育学部体育学科卒業
- 1971(昭和 46)年 同大学大学院体育学研究科修了
同年 同大学教務補佐員
- 1975(昭和 50)年 大阪大学助手
以後 同大学講師、助教授(准教授)、教授に昇格
- 2010(平成 22)年 同大学定年退官
- 2016(平成 28)年 7月6日 逝去。享年 70



B5判・182頁・
頒価1000円+税
(送料含む)

目次

第1回 連載をはじめにあたって

近代武道史研究の意義／私の研究の整理／明治期における武道の社会的評価／武道とスポーツ／学校教育と武道／戦時体制下の武道

第2〜12回 『風俗画報』にみる明治期の武道

『風俗画報』について／江戸趣味・懐古・故実にみられる武術／各地、名所図会にみられる武術／武術の興行と講習会への移行について／外国人歓迎行事や博覧会の協賛行事と武術の競技化の進行／明治二十年以降にみられるナショナルイズムの風潮と武道教育／日露戦争と武道の評価／武士道と武道の問題／補遺 およびまとめ

第13〜20回 『体育と競技』・『アサヒスポーツ』の両誌にみる武道のあゆみ

武道の教育化の進展と名称変更／昭和六年の武道必修化への経過について／武道の競技化の進行とスポーツ／御大礼記念天覧武道大会／体育の日本化の進行と武道教育／「非常時日本」と武道

第21・22回 『体育と競技』・『アサヒスポーツ』の両誌にみる武道の国際化のあゆみ

第23回 『体育と競技』誌に見る日中戦時期の武道教育のあゆみ

第24回 『学校体錬』・『学徒体育』両誌にみる戦時体制下の武道教育について

第25・26回 『新武道』誌にみられる戦時体制下の社会における武道について

最終回 戦後の武道のあゆみ

学校武道の禁止と大日本武徳会の解散／武道のスポーツ化と学校武道の復活／武道から格技へ／格技から武道へ

杉江正敏先生の略歴と主要業績

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

東深沢中学校の体育祭・空手集団演武を視察



平成29年度中学校武道授業（空手道）指導法研究授業（主催Ⅱ日本武道館・全日本空手道連盟・日本武道協議会）が6月2日・3日に研究者3名と研究協力者3名が集まり、東京都世田谷区立東深沢中学校で行われ、3日に研究者たちは体育祭での空手集団演武を視察した。

東深沢中学校の平成29年度第57回体育祭では全学年男子約200名が空手集団演武を披露。同中学校の体育祭では、組体操に代えて初めて空手集団演武を実施した。

◇ □初日（6月2日）

空手道授業の経緯について

14時より東深沢中学校の2階会議室にて研究事業が開始された。

開講式では主催者、講師代表挨拶に続いて長谷川智也校長が挨拶を述べた。その中で「本校の空手道授業は、平成27年度より東深沢スポーツ・文化クラブとの連携の中で始まりました。そして本年度より、体育祭において、全学年の男子は組体操に代わり空手集団演武を行うことと

なりました」と東深沢中学校における空手道授業の説明を行った。

開講式後の研究協議では、3名の研究協力者による実践例報告に続き、オブザーバー参加者であり東深沢スポーツ・文化クラブで空手道を指導している岸田耕治氏を主として、東深沢中学校の空手道授業の経緯が説明された。

岸田氏によると、平成26年度まで東深沢中学校では武道授業として柔道を実施していた。前述のスポーツ・文化クラブによる指導者と教員との交流のなかで、岸田氏は東深沢中学校より、体育で空手道を行いたいとの要望を受けた。そこで平成27年度に、対象者は第1学年の男子とし、授業協力者として全日本空手道連盟より日下修次理事・事務局長に協力してもらい、「形」を中心とした空手道授業を計7回実施した。

これが好評となり、平成28年度は対象を第1学年男女、第2学年男女、第3学年男子に拡大、授業協力者として岸田氏が協力することとなった。スケジュールの都合上、岸田氏だけで授業をカバーしきれないため、岸田氏は近隣にある日本体育大



全学年による演武＝基本形1

学空手道部監督の竹見国雄氏に協力を打診。竹見氏は岸田氏と顔見知りであることから、快諾をもらった。同大の師範からも地域に還元するのは良いことだと内諾を得たという。また、同大空手道部の佐藤穂花氏も授業協力者に加わった。佐藤氏は東深沢中において「教師体験」をした経緯をもつ。こうして、いずれも人とのつながりの中で協力体制がつけられていった。

教員側も授業協力者に任せっきりにではない。大塚幹太主幹教諭をはじめとし、平成27・28年と全国空手道指導者研修会（主催Ⅱ日本武道館・全日本空手道連盟）に3名が参加。長谷川校長も静岡での講習会に参加し、全員初段を獲得した。平成28年度の指導案についても27年度の指導案をもとに教員が作成し、授業協力者に指導を依頼。28年度からは教員が主体となって授業を行った。授業は冬の時期に実施し、導入ではオリエンテーションとして動画を視聴。各武道を紹介し武道全般の理解を深めている。これにより、単なる競技としての空手ではなく、日本の伝統文化である武道の中の空手道

を実施するということを理解させている。服装については、同校指定のジャージの上に、以前授業で使用していた柔道着を着用している。

授業は、グループ学習を主として実施。お互いに教え合うことで総体的な技量をあげることも効果を出しており、コミュニケーションをとる言語活動の充実にもつながっている。また、授業協力者として前述の佐藤氏が加わったことで、女子生徒も授業に取り組みやすくなったことだ。

そして平成29年度、全学年の男子生徒は主に4・5月に授業を行い、体育祭において空手集団演武を披露することとなり、1年生は基本形1、2年生は基本形2・基本形3、3年生は平安二段・平安四段を演武するに至った。学年が進むにつれてより高度な演武内容となっている。

ちなみに女子生徒は体育祭ではダンスを披露する予定であり、空手道授業は冬の時期に実施する。

研究協議の最後に小山正辰研究者より「東深沢中学校のような事例はあまり聞いたことがない。学校が総合型クラブと近隣大学と協力した成功例であろう」と感想が述べられた。



開始の合図とともに勢いよく走り出す生徒たち



大塚主幹教諭による号令



全学年による演武=約束組手

□2日目(6月3日)

体育祭での集団演武

3日の午前は、昨日に続き、会議室にて研究協議が行われた。校庭では体育祭が開催されており、女子生徒によるYMC Aのダンスなどが披露されていた。午後は全学年男子約200名による空手集団演武となり、研究者たちは、前列で演武を視察した。

生徒たちが全体リハーサルを終えた本番直前に、大塚主幹教諭は「しっかりと、気合いを入れてやってくれ」と生徒を激励で送り出し、演武は開始された。

生徒たちは学年ごと後方に整列。紹介のアナウンスの後、大きな掛け声とともに勢いよく走り出し、校庭いっばいに広がった。演武始めは全体での基本動作。一瞬の静寂の後、大塚主幹教諭の指揮する太鼓の音とともに生徒たちは「エイ！」と気合いを入れながら、その場突き・連続突き・連続蹴りを10本ずつ行い、続いて、約束組手2・4・8を披露した。

続いて学年ごとの演武となり、1年生は基本形1、2年生は基本形2・3、3年生は平安二段・四段を

行った。最後は全員で基本形1を披露。力強い演武をやり遂げた男子生徒たちに保護者や女子生徒たちから大きな拍手が送られた。

集団演武の感想

場所を会議室に戻し、研究者たちから感想が述べられた。

▽佐藤穂花氏



「完成度が高く、引き手もしっかりしていた。授業で行ったことがしっかりとできていた」

▽岸田耕治氏



「1年生は短い練習時間でよくここまでできたと思う。太鼓

の音が演武の抑揚を向上させていた。昼前は女子生徒による音楽に合わせた楽しいダンス。午後は太鼓と掛け声のみの空手道の演武となり、違いがあつて観覧者もよかったのではないか」

▽竹見国雄研究協力者



「大塚先生の指導が非常に優れている。生徒たちからは頭の



3年生による演武



2年生による演武



演武を見守る観覧者

上下運動も見られなかった」

▽石川周亨研究者



「2年生は力強い演武であった。3年生の平安の演武では後屈立ちが上手^{うま}くていかなかった。また、集団演武では、小さい生徒が前列に来るとか、観覧者に配慮があったほうがより良いと思う」

▽小山正辰研究者



研究事業の最後に、小山正辰研究者より講評が、日下修次全日本空手道連盟理事・事務局長と吉野喜信日本武道館振興部長より主催者挨拶がそれぞれ述べられた。

「地域のスポーツクラブと大学が連携し、学校長をはじめとして教員が主体的に取り組んでいく、良いサイクルができています」

▽日下修次全日本空手道連盟理事・事務局長



「運動会のために空手道を行ったのではなく、空手道授業の成果物として、運動会の集団演武が行われている。これは、空手道がいかに学校で取り扱い易い内容であるかの表れである」

▽吉野喜信日本武道館振興部長



「空手道の可能性を実感することができた。学校の授業でさらに空手道を実施していただけるように努力してまいろうではありませんか」

学校関係者インタビュー



長谷川智也
世田谷区立東深沢
中学校校長

「体育祭本番まで大塚主幹教諭の指導力を信じ、全て任せていました。初めての試みでもあり、大きなプレッシャーの中、大変よくやってくれました。3年生は高度な技に挑みましたがよく仕上げました。また2年生はとても元気よく、立派な演武でした。そして1年生は入学して間もなく、空手道が初めての生徒がほとんどでしたがよくがんばりました。本校では、今年度より組体操から集団演武に変えました。何よりも生徒の安全を第一に、本校が進めている地域連携と、授業の成果発表の場として実施を決断しました。体育祭までの限られた時間の中、体育科を中心に岸田先生の助言を得ながら、初の取組を成功させてくれました。私も何か助言ができるようにと、2月に実施された静岡での実技指導者講習会を受講させていただきました

が、全て教員の力だけで仕上げてくれました。空手道を通じて、礼儀正しく相手を尊重できる生徒に育てたいと考えます。来年度以降も体育祭で集団演武を続けていきます」



大塚幹太
世田谷区立東深沢
中学校主幹教諭

①体育祭を終えて
「生徒たちは真面目ですので、意欲は非常に感じました。4月には様々な行事があり、初めて空手道の練習に入れたのが4月の最終週です。その後、ゴールデンウィークがあり、1年生は河口湖の移動教室がありました。本格的に練習できたのがつい最近です。とにかく時間がありませんでした。屋外での練習がほとんどできず、今日初めて校庭で位置取りをしたくらいです。年度当初の体育祭の演武練習は時間的制約がたくさんあります。そんな中、効率よく指導を行うため、空手道授業が初めてとなる1年生には2年生に助言して

もらい、その間に、私は難易度の高い3年生の演武を指導しました。これは組体操で行っている流れでもありません。体育祭までの1年生の練習時間はわずか3時間でした。2・3年生はここまで7時間程度は練習できましたね。少ない時間の中でも講習会等で教わったことをなるべく忠実に再現し、指導するよう心がけました」

②礼法等の指導について
「僕が剣道を学んでいたので、武道の所作にはすべて意味があることは指導しました。また、最初の授業では動画で空手道の他にも日本と世界の武道を紹介し、その中の空手道を行うことを理解させています。空手道の授業を終えてから、生徒がよく挨拶するようになったと思います」

③授業の課題について
「空手道が一番難しいのは、色々な流派があり、それぞれ動きが違うことです。これは他の武道にはありません。生徒の中にもそれぞれ異なる流派の道場に通っている子どもがおり、動きが異なります。子どもからしたら、道場で教わっているものが正しいので、今回は全日本空手道連

盟が制定した基本形をやるからね」と必ず前置きを入れました。微妙なズレをまとめていく作業が難しかったですね」

生徒の感想

◇

▽1年男子（サッカー部）
「最初はみんなバラバラで、すり足も全くとできていませんでした。みんな教え合うことができたので、全体のレベルがあがり、今日までに完成させることができました。それが一番うれしかったです」

▽2年男子（体力向上部）
「動くところは動く、止まるところはきちんと止まることを意識して演武しました。順突きを決めたとき周りから拍手があり、気持ちよかったです」

▽3年男子（サッカー部）
「練習時間が少ない中で覚えるのは大変でした。平安二段は基本形より動きも多く難しかったです。今日は皆で声を一つにして合わせられたのでよかったです。1年生にも教えました。少ない時間の中でよくできたと思います」

世界空手連盟(WKF)

エスピノス会長が日本武道館に来館

—2020年東京オリンピック空手道競技の成功に向けて

6月7日、世界空手連盟(WKF)のアントニオ・エスピノス会長が日本武道館に来館した。エスピノス会長のほか、世界空手連盟奈藏稔久事務総長も同席。日本武道館からは三藤芳生理事・事務局長ほか4名が応対した。

エスピノス会長は2015年1月以来の来館。会議では、三藤理事・事務局長が「日本武道館は国、東京都組織委員会、建築事務所と連携をして準備を進めています。2020年東京オリンピック空手道競技を成功させるために世界空手連盟と全面的に協力してまいります」と話した。

続いてエスピノス会長が「世界空手連盟として初めての大会を開いた日本武道館で、2020年東京オリンピック空手道競技が開催できることは歴史的な快挙だと思います。素晴らしい大会になるよう準備を進めていきます」と述べた。

会議は終始和やかな雰囲気で行わ



左から3人目よりエスピノス会長、三藤芳生理事・事務局長、奈藏稔久事務総長

れ、2020年東京オリンピック空手道競技の成功に向けて協力を確認して終了した。

マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

マンガ・武道の偉人たち



ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

日本武道館の単行本

空手評論家

金城

裕

(きんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光日本武道館会長



(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手からての精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長 金澤弘和 著
父母の教え、「からて」との出合い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

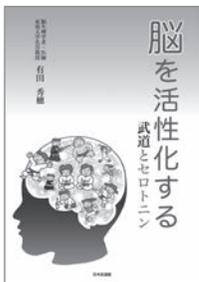
(四六判・上製・372頁)

脳を活性化する

武道とセロトニン

東邦大学名誉教授

有田秀穂 著



人間の心身を安定させるセロトニン——。その研究の第一人者が、誰もがができる脳を活性化させる方法をわかりやすく解説。

(A5判・並製・346頁)

BUDO: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

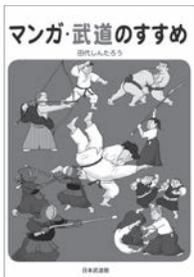


武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう 著



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著
武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

田谷将俊 著

月刊「武道」記者



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)

「体育の日」を「スポーツの日」とするための第8回会合

日本武道館が武道界を代表して意見を述べる

●三藤芳生日本武道館理事・事務局長、日本武道協議会常任理事



「体育の日」を「スポーツの日」とするためのプロジェクトチーム」の第8回会合が6月8日、参議院議員会館において開かれた。

平成28年1月にスポーツ議員連盟を中心に発足したこのプロジェクトチームにおいて、スポーツの持つ包括的な意義を実感・実践するとともに、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進するため、国民の休日（10月第2月曜日）である「体育の日」を「スポーツの日」とすることに付いて検討を行っている。第8回目となる会合には関係者約30名が出席した。

これまでに何回か有識者や関係団体へのヒアリングを行ってきたが、今回の会議では、武道関係者からの意見聴取ということで、三藤芳生日本武道館理事・事務局長、日本武道協議会常任理事が、武道界を代表して意見を述べた。

会議は午前8時に開会。堂故茂（どうこしげ）スポーツ議員連盟「体育の日」を「スポーツの日」とするためのプロジェクトチーム「事務局長（参議院議員）の司会で始まった。

はじめに菅原一秀座長（菅原いっしゅう）（衆議院議員）より、「このプロジェクトチームも第8回目となりました。高村正彦先生からも武道関係者の声をよく聞くようにと伺っており、本日は三藤芳生日本武道館理事・事務局長様

に足をお運びいただきました。しっかりとした議論の中で提言をとりまとめていきたいと思えます」と挨拶があった。

続いて、遠藤利明衆議院議員から「2011年のスポーツ基本法を作った際に、最後まで悩んだのは武道の扱いでした。他の種目は世界チャンピオンを育てることで一番評価されます。しかし、武道は必ずしも世界チャンピオンがトップではなく、



遠藤利明衆議院議員



菅原一秀衆議院議員



堂故茂参議院議員



会議の様子

むしろ世界チャンピオンになった後に、人物あるいは指導力、そして地域貢献等を含めて評価が決まっています。もう一つが、いま議論いただいている「体育の日」について、日本体育協会、国民体育大会など、体

育という名前をどの段階で整備していくか。今日は三藤様から意見をいただいて、名称変更について考えていきたいと思えます。いま国民スポーツ振興を考える重要な時期ですので、しっかりと議論して素晴らしい成

果を出していただきますようお願い申し上げます」と挨拶があった。その後、武道関係者からの意見聴取として、三藤芳生日本武道館理事・事務局長、日本武道協議会常任理事が意見を述べた。

●発表要旨

武道は人間を磨く道——武道の歴史・現状・特性・課題

日本武道館理事・事務局長、日本武道協議会常任理事 三藤芳生

1. 武道は1千年以上の歴史を有する日本の伝統文化

①茨城県鹿島神宮宝物館に国宝の日本最大の直刀（制作約1300年前 長さ約3m 重さ約5kg）

②真の日本史は武家政権の鎌倉時代から

奈良時代、平安時代の平城京、平安京は中国の真似。武家政権の鎌倉時代は質実剛健の幕府 ↓律令・格式から御成敗式目へ（「実用・省略・美」小笠原流弓馬術礼法の教え）

③戦闘者から統治者へ「一所懸命」「所領安堵」（後の「終身雇用」「年功序列」の原型）

武道は自衛の術から始まり、平和な江戸期に体系化され専門分化。戦

闘者から統治者へ、文武両道、武士道の確立

④幕末から明治期に山岡鉄舟が剣道の基礎を、嘉納治五郎が柔道を創始

2. 武道は国内に250万人、海外に5千万人を超す愛好者

①小学生の「少年少女武道錬成大会」から90歳が参加する「高齢者武道大会」まで、国内に幅広く武道愛好者250万人、海外には5千万人を超す武道愛好者

②「武士道」「サムライ」は世界共通の尊敬語

③国内に2万館の武道館（1万館は学校関係、1万館は公立武道館と町

道場) ↓野球やサッカーと違い、日本武道館での柔道や剣道の錬成大会には、1日3千名以上の小学生が全国から参加、一日中汗を流す↓屋根のある道場に素足、武道は日本の歴史風土に適した運動文化

3. 武道には相手がいる「武道は礼に始まり、礼に終わる」

①鎌倉時代の小笠原流弓馬術礼法がわが国礼法の起源

②礼は我が身を守ると共に相手を守る ↓礼を守れば無敵だ

③「昨日の我に今日は勝つべし」(柳生家憲)

最大の敵は自分自身、武道は弱い自分を強くする

4. 師弟同行・武道には優秀な指導者が必要

①非日常的な運動で、殺傷性を有する武道には優秀な指導者が必要。武道は指導者によると言っても過言ではない。師弟同行は一生続く修行の道

②ロシア・プーチン大統領は今でも全柔連山下泰裕副会長を尊敬

5. 中学校武道必修化、課題は指導者と指導時間

①中学校武道必修化が今後も続く、50年後、100年後には全国民が武道経験者となる。武道必修化の充実・成功は国家にとっても大事な事業である

②実施6年目を迎えた中学校武道必修化、次期学習指導要領に武道全9種目(柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道)を並列明記が決定。課題は指導者と年約10時間弱の指導時間 ↓柔道の受身や剣道の打ち込み、武道は基礎基本を大事にする

③日本武道協議会設立40周年記念事業として指導書(全10冊・各50頁・5万7千部)・DVD(全3巻・各120分・3万7千巻)を日本武道館の予算(約1億円)で制作、全国1万余校の中学校、各都道府県市区町村教育委員会、公立図書館等へ5月下旬から無償配布

6. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させよう

①競技種目の柔道、空手道に支援、

助成を
②会場となる日本武道館の増改修工事に支援、助成を

『武道の理念』

「武道は、武士道の伝統に由来する我が国で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道を修練して心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、国家、社会の平和と繁栄に寄与する人間形成の道である。」

◎まとめ

①武道は武士道の伝来に由来する1千年以上の歴史を有する日本伝統の人間を磨く道である。

②かつて成人の日は有職故実に則り1月15日と定められており、日本武道館は古式に則って「鏡開き式・武道始め」を挙行していた。残念ながら現在は1月第2月曜日に経済的事

情により振り替えられており、「伝統や文化を尊重する」教育基本法の趣旨に反しているのは残念なこと

ある。
③武道界としては、「武道の日」が一展望ましい。



発表が終わると、質疑応答が行われた。まず、柔道四段の遠藤利明衆議院議員から、「剣道のオリンピック参加についてどのように考えられていますか」との質問があった。

これに対し、三藤理事・事務局長は「剣道は日本の武道としての剣道を貫きたいという考えで、現在、世界選手権の審判も選手もその方針で行っています。試合に勝ってガッツポーズをすると剣道では負けになります。これをルール化している種目はおそらく他にはありません。立派な態度を競技の眼目に取り込んでいます。スポーツ競技における勝つて喜ぶことは当たり前だという考えと

は道を異にしています。剣道界はあって正道を貫き、オリンピックの道は無理して選ばない。現在のところはそういう理解でよろしいかと思えます」と回答した。

続いて、秋元司衆議院議員と笠浩史衆議院議員より、「スポーツの日」ではなく「武道の日」としたい旨の



秋元司衆議院議員



笠浩史衆議院議員



小松裕衆議院議員

意見について改めて確認がされる
と、三藤理事・事務局長は「成人
の日」と同様、「スポーツの日」と
決まったならば受け入れれます。武道
界は腹が太いですから、どうぞご安
心ください。ただし、主張は主張で
あります」と答え、どっと歓声があ
がった。

また、菅原衆議院議員からは「武
道の愛好者は250万人いても、学校に
おいては指導者がどうしても少ない
です。行政側に対する考えや学校現
場でのいろいろな壁についてお聞き
したい」と質問があつた。

三藤理事・事務局長は「高橋道和
スポーツ庁次長やスポーツ庁としつ
かりコンタクトを取って協力しなが
ら行っています。必修化が始まって
5年ですが、50年後、100年後には全
国民が武道経験者となるわけで国家
にとつても大事なことだと思いま
す。昔は地域にいたコワイおじさん
が今はもういませんし、学校教員も
そうです。代わりに武道の指導者
は、しつかりと凛とした態度で、子
供達を内側から技を通して心の指導
ができます。立派な武道指導者が学
校現場に全校配置されたら指導効果

が期待できます。現在、その方向の
努力をしています。

私どもはスポーツ庁から国庫補助
金をいただき、全国規模の8種目と
剣道は全国5ブロックで指導者講習
会を行っています。毎年約1500
人が参加します。それから全国の都
道府県立武道館協議会では約80カ所
以上で指導者の講習会を行っていま
す。そこで必修化に対応したプログ
ラムを組み、先の指導書やDVDを
活用して研修を行います。指導者の
充実については時間がかかりませ
が、間違いなく今より前進するの
ではないかと思えます。指導者の充実
はそのまま中学校武道必修化の充実
につながっていきます。外部指導者
は予算がないとか手続きが煩雑など
の問題はありますが、武道界は指導
者名簿を揃えていますので、スポー
ツ庁と共有・連携を深めながらより
良い指導体制ができるようにやっ
ていきたいと考えます」

「体育の教科書は教師自身です。
特に武道はそうです。指導者が中学
校武道必修化の充実成功の鍵を握っ
ています。教科書として、保健体育
科教員のあるべき姿を求める、これ

が非常に大事です。武道では体育教
員が自ら示範しなければならぬ。
したがって、教員の資質向上、指導
力向上、これをしつかりやっていく
ことが重要です」と述べた。

さらに、小松裕衆議院議員が「武
道を世界に広めるためにいろいろな
思いを持って聞かせていただきまし
た」と感想を述べると、三藤理事・
事務局長は武道の国際化について、
「銃剣道以外の武道8種目には世界
組織があります。特に競技をしない
合気道は海外では、動く禅」と言わ
れています。他の種目も世界中に支
部があり、武道はそのよさが認めら
れ、世界中で愛好家が増えています。
健康や趣味を含めあらゆる要望
に応えることができますのが武道の奥
深さだと思えます。古いものには底
力があります。日本の体育・スポー
ツは武道が下層で支えています。私
ども武道関係者はそうした自覚や自
負をもつてやっています」と述べた。

最後に菅原衆議院議員が、「三藤
様より武士の真髓を、ご教授賜りまし
た。感謝申し上げます」とまとめ、
会議は終了した。

好評発売中

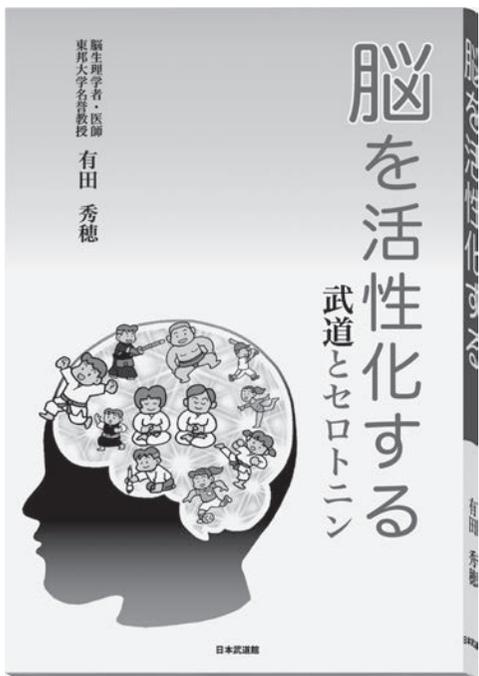
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレッチとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光

東邦大学名誉教授 有田 秀穂

： 他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

(翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット)

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・344頁)



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



<増補版>

私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

(四六判・上製・326頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

(四六判・上製・248頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

(四六判・上製・220頁)



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。